

技術評価報告書

申込者： 富田興業株式会社 代表取締役 富田 勇
兵庫県西宮市津門綾羽町1番13号

技術名称： TW リング溶接継手性能

当法人「建築構造技術審議委員会」において慎重審議の結果、2019年3月29日付けの技術評価書(SABTEC 評価 18-02)の通り、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、本技術は妥当なものであると判断されたことを報告する。

2019年3月29日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
代表理事 益尾 潔

建築構造技術審議委員会

委員長	窪田敏行	近畿大学	名誉教授
副委員長	田才晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	教授
委員	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
〃	田中剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
〃	勅使川原正臣	名古屋大学大学院環境学研究科	教授
〃	三谷勲	神戸大学	名誉教授

TW リング溶接継手性能 専門部会

主査	岸本一蔵	近畿大学建築学部建築学科	教授
委員	窪田敏行	近畿大学	名誉教授



技術評価書

申込者： 富田興業株式会社 代表取締役 富田 勇
兵庫県西宮市津門綾羽町1番13号

技術名称： TW リング溶接継手性能

技術概要： TW リングは、JFE 条鋼(株)水島製造所が製造する JIS G 3112 に適合する異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート造柱、梁に配置される溶接閉鎖型せん断補強筋であり、TW リング溶接継手は、2015 年版建築物の構造関係技術基準解説書に示された建設省告示第 1463 号(平成 12 年 5 月 31 日)に基づく「鉄筋の溶接継手性能判定基準」による A 級継手と同等の性能を有することとしている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2019年3月29日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
TW リング標準製造要領書、溶接試験説明資料および関連資料
これらの資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。

評価内容： TW リング溶接継手は、2015 年版建築物の構造関係技術基準解説書に示された建設省告示第 1463 号(平成 12 年 5 月 31 日)に基づく「鉄筋の溶接継手性能判定基準」による A 級継手と同等の性能を有すると判断される。

技術評価内容

申込者

富田興業株式会社
代表取締役 富田 勇
兵庫県西宮市津門綾羽町1番13号

技術名称

TW リング溶接継手性能

適用範囲

- (1) 素材鉄筋 JFE 条鋼(株)水島製造所製異形鉄筋
種類(鋼種) : SD295A, SD345
呼び名 : D10, D13, D16
- (2) 溶接方式 フラッシュ溶接
- (3) 製造工場 富田興業(株)東条工場
- (4) 溶接機 (株)キャダック 製 AFBW-150-DT

技術評価に際して行われた試験

TW リング溶接継手性能の妥当性は、環境変化等を考慮した溶接条件下で製造した溶接試験片 450 本について検知試験を行い、鋼種、呼び名ごとに定めた標準溶接条件下で製造した試験片を用い、下記の各試験で確認している。

- 1) ①基本確認試験、②特殊条件確認試験、③溶接部硬さ測定、④溶接部マクロ組織観察
- 2) 「鉄筋の溶接継手性能判定基準」に定められた一方向繰返し試験および鉄筋母材曲げ試験

技術評価の主な審議事項

技術評価に際し、建築構造技術審議委員会での主な審議事項は、以下の通りである。

- 1) 溶接継手性能検証試験の妥当性
- 2) 溶接継手性能品質管理の妥当性

技術評価の経過

2019年1月23日開催の第38回建築構造技術審議委員会(以下、本委員会と略記)において、申込者提出の技術資料について検討し、詳細検討は、専門部会を設けて行うこととした。専門部会では、本委員会での指摘事項を踏まえて修正された技術資料について、慎重に審議を行い、結果を2019年3月29日開催の第39回建築構造技術審議委員会に報告した。

建築構造技術審議委員会では、申込者提出の技術資料について慎重に審議を行い、本技術は妥当なものであると判断した。

以上